



くがに

自主・自立・共働・共助

一般社団法人
南城市シルバー人材センター
南城市玉城字富里167番地
電話 (098) 852-6655
ファクス (098) 852-6656
e-mail: nanjo@sjc.me/jp

新年明けましておめでとございます。皆様には、お健やかに平成25年の初春をお迎えのこととお喜び申し上げます。南城市シルバー人材センターも、昨年1年間国の補助金削減等厳しい経営環境の中になりましたが、

謹賀新年 希望・飛躍・健康



2013年初日の出 (知念の丘から)

皆様方のあたたかいご協力とご支援により順調に事業が運営でき、心から御礼申し上げます。昨年、5月の環境月間に志喜屋海岸地先で、沖縄県庁、市役所、建設業協会等と共に、本センター

皆様方のあたたかいご協力とご支援により順調に事業が運営でき、心から御礼申し上げます。昨年、5月の環境月間に志喜屋海岸地先で、沖縄県庁、市役所、建設業協会等と共に、本センター



理事長 大湾政松

公益法人へ決意新た

巴志マラソンに向けては、10月末に本部会場のシュガーホール周辺駐車場の草刈清掃をボランティアで実施しました。この様にいろいろな場所でボランティアとして350名余の会員を動員、元気に生き生きと社会参加活動が出来ることが達成感を覚えます。そして朝礼での就業前安全意識高揚集会によって重篤事故防止

に繋げることが出来ました。また、日常的な就業で汗をかき、成人病の数値が改善し健康になったとの話も聞くことが出来る嬉しい限りです。

公益法人 認可を申請

わがセンターでは、昨年から新公益法人関連法に基づく公益社団法人への移行認可申請を進めてきました。今年4月1日には公益社団法人として新たにスタートする予定になっています。今後は、シルバー事業が広く地域社会に根ざし、自ら培った知識や経験、ノウハウを地域で生かしていきける共生社会のネットワークづくりが必要で、

会員数の推移

230人	232人
225人	225人

地域の生活応援隊 会員募集中!

(一社) 南城市シルバー人材センター

しまジマ 散歩 パート5 玉城字前川

玉城字前川(當山全章自治会長)は糸教城の南麓(山川堂原)が発祥の地とされ、現在地(本字仲地原)に移転して約300年余といわれている。11月現在403世帯、人口1099人で区域に大道屋取・石川屋取・上地屋取も含まれ区域は広い。有形・無形の文化財も多い。東洋一の規模を誇る玉泉洞(おきなわワールド)、1万2千年前の地層から人骨や化石が発掘されたサキタリ洞遺跡は古代人の生活模様を知る貴重な発見である。集落内を散策すると古い石垣や碁盤目状に整然とした屋敷など古き良き時代のロマンの香り高い集落でもある。また、伝統芸能も古くから盛

んで、市指定無形文化財の寄贈(ユシグエー)踊りは160年もの歴史を数え、農作業中の勤勉な農民が、遊女を連れて遊びに行く役人を、ちよつとからかうユーモアのある演劇である。「アヤグー」は勇壮闊達(かつたつ)で、農作業を終えた夕暮れ時、広場に集まり腕比べや力試しの様子を舞踊化したものだと言われている。その他多くの伝統芸能が保存継承され、行事等で披露される。前川は古くから地頭(ジツデー)村とも称され、政界、経済界、教育界や医学界等に多くの人材を輩出し、教育熱心な地域でもある。また、農畜産業も盛んで、特に、酪農は県でも先進地域として知られている。(中村)



「ユシグエー」のひとつコマ



昔の趣が残る石垣と石畳

みんなであつて守ろう ☆安全心得☆

① 急いだり、あわてたりしない

② 器具類は使用前に必ず点検する

③ 服装・履き物は作業に合った動きやすいものですか

④ 作業現場は常に整理整頓

⑤ 作業前に柔軟体操をほぐす

⑥ 無理は禁物です

事務局長 だより

会員の皆さん新年明けましておめでとうございませう。平素は事務局に特段のご協力をいただき、深く感謝申し上げます。昨年、重篤事故もなく平穏な一年となりました。これも会員の皆さんが普段から安全・適正就業に努められた結果だと思えます。今年も気を緩めることなく一層のご努力をお願い致します。さて、2月は税の申告の時期です。事務局では申告に必要な「平成24年配分金証明書」を自宅あて郵送しましたので、確認して下さい。

シルバー人材センターは、一般社団法人(4月から公益社団法人)で、高齢者の雇用に関する法律により国の補助団体となつています。会員が就業により得た収入は「配分金」といい、この収入は所得税法上「その他の雑所得」に該当し、租税特別措置法第27条の規程により必要経費の控除が認められています。是非「配分金証明書」を活用して下さい。

事務局 だより

無理は禁物です

編集後記

己(み)年の幕開けである。本センターが設立されてから(任意団体含む)5年目を迎え、人間で言えば、幼児教育から小学校教育への準備期である。新たな体験、知識、創造性などを育む最も大切な時期である。そんな折、4月1日には公益社団法人へ移行し一段と社会的責任を担う、新たなスタートを切る。この4年間を総括し、積み重ねてきた実績と経験を元に、更なる発展を期したい。(中村)

法律により国の補助団体となつています。会員が就業により得た収入は「配分金」といい、この収入は所得税法上「その他の雑所得」に該当し、租税特別措置法第27条の規程により必要経費の控除が認められています。是非「配分金証明書」を活用して下さい。

シルバー人材センターは 高齢者の活動拠点



(公社)南城市シルバー人材センター 理事長 西村 嘉元 名

輝かしい新年を迎え、一般社団法人南城市シルバー人材センターの会員並びに役員の方々に新年のご挨拶を申し上げます。貴センターにおかれましては、平成20年度に設立以来、高齢者の多様なニーズに対応したシルバー事業の推進にご尽力され、平成23年度は、会員数206名、受注契約額8千

百50万円余のすばらしい実績を上げられました。これもひとえに会員皆様の丁寧な仕事ぶりが地域に高く評価された結果

であり、大湾理事長をはじめとする役員の方々のご努力に深く敬意を表す次第です。おかげをもちまして、県内15センターをとりまとめた連合全体の平成23年度の事業実績は、会員数5千8百16名、受注契約額24億3百80万円余と、前年度を上回る

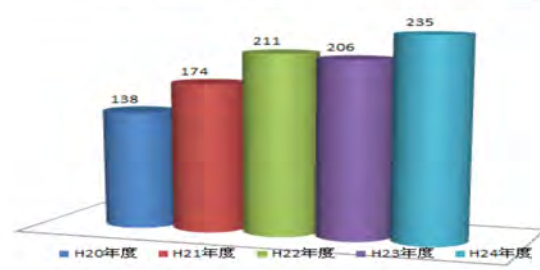
ごいます。さて、少子高齢化の急速な進展により、超高齢社会へ移行しているわが国において、地域の活力や経済活動を維持していくには、高齢者の社会参加が不可欠となっております。シルバー人材センターは、仕事を通じて社会参加を促進することにより、高齢者の健康増進や生きがいの充実を図ると共に

に、高齢者が生きがいや楽しみを見いだせるよう、雇用・就業だけでなく、ボランティア活動やサークル活動などの社会参加を推進することにより、高齢者の多様なニーズに対応する「働く高齢者のワンストップサービスセンター」の実現に取り組んでいます。

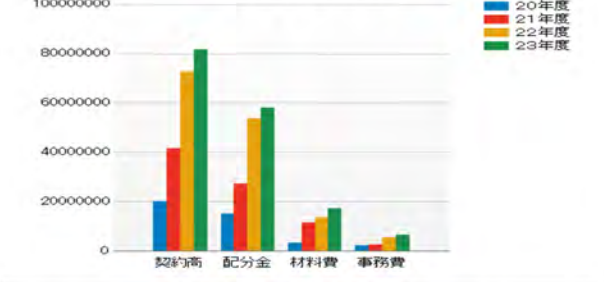
地域に根ざした、地域を支える事業を展開し、増加する高齢者の受け皿として、魅力あるシルバー事業の実現に努めていく所存です。貴センターにおかれましては、会員と役員の方々の活動拠点として地域に貢献するシルバー人材センターの実現に感謝申し上げます。貴センターのご発展と会員の皆様のご健勝とご活躍を祈念申し上げます。新年の言葉と致します。

データで見る 事業実績の推移

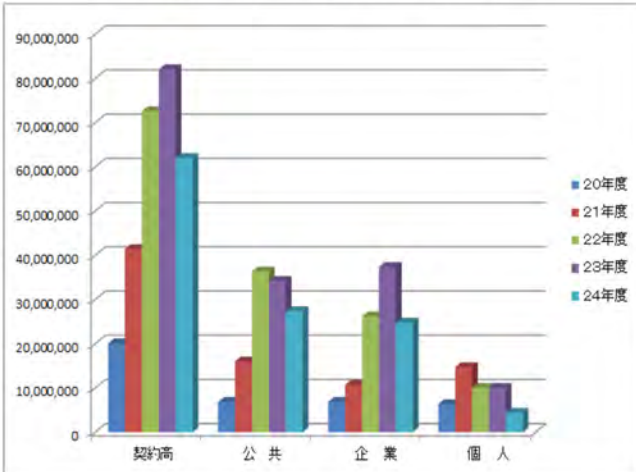
年度別会員数の推移



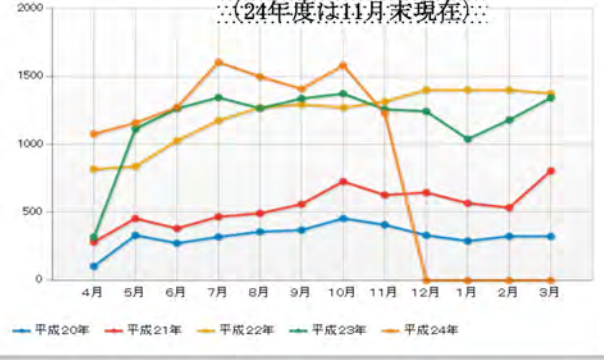
事業実績の推移



年別・発注者別契約額の推移



月別・年別就業延人員の推移



研修状況



70人余が参加した安全適正就業講習会

海岸清掃ボランティア



ボランティア作業後 パチリ



仲間のプレーをじっと見つめる

グラウンドゴルフで 会員交流



ナイスショット?



仲間が見守る中 照れるな～



大会終了後の表彰式



スタート前 スティック選びも慎重

新春エッセー 去年今年 石田 英明 知念 宇安 真真

去年(きぞ) 今年 貫く棒の如きもの

正月になると決まって、ほのかな悔いとともにこの句を思い浮かべる。当時76歳の高浜虚子

は「一年を貫くもの」に何を仮託したのだろうか。解説書などは、一夜明けると昨日が去年になっ

てしまう時間の大きな流れと説くが、ここは年が変わろうと太くまっすぐ、ゆるぎない自らの

信念と読みたい。冒頭の悔いは、確たる信念もなくいたずらに去年一年間を過

ごしてしまった自らの不甲斐(ふがひ)なきに由来する。に驚くが、相手の熱意を測る

は、高倉健が演じた男たちだ。人材センター。ギャラの額を

「健康さんは「網走番外地」やいえば、彼我の差にうなだれ

「幸福の黄色いハンカチ」るしかないが、悔いなく年を

「鉄道員ぼっぼや」などで、終えられるよう、棒の如き信



ぶりの映画「あなたへ」が封切られ、インタビュをまとめた本が出版され、NHKが放映した。健さんはその中で、映画に出る大きな要素として

「あまおまえは何をしてき目安になるうえ「自分を奮い立たせて役に向かうため」と

「あまおまえは何をしてき目安になるうえ「自分を奮い立たせて役に向かうため」と

「あまおまえは何をしてき目安になるうえ「自分を奮い立たせて役に向かうため」と

趣味拜見

釣りは僕の人生だ
知念和幸さん
佐敷字新開

シルバー人材センターに入会して3年余、60歳まで勤めていた老人ホームの施設管理者からの転身である。

主に樹木の伐採、除草作業に従事しており、作業終了後はチェンソーなど、作業用機械器具のケ

アは入念に必ず行うという。さすがに前職の経験を見事に活かした仕事ぶりだと、ほとほと感心させられる知念さんである。



就業の合間をぬって、趣味の釣り三昧にふけっているとのことである。「何時の頃から釣りを始めたんですか」との問いに、さて、と少し考えた後「気がついたら小さい時から家の前にある馬天港に釣り糸をたれていた」との答えが返ってきた。それほど知念さんにとって、ごく自然に釣りが生活の一部になっていったようです。「今は亡き父がよく釣



馬天港で釣りを楽しむ

会員さん登場
齋藤良隆さん
佐敷字佐敷



30年前トンネル工事のやぶれ土木屋に転向。ト責任者として沖繩に向い、トンネル工事の保安係の免職と過去を振り返る。そのトンネル工事に関わってきた。の厳しさはきつと！高校、やりたい放題の人生だった。大学を通して厳しい柔道と自認する。60歳を越えて今、何と楽しい日々をの稽古に明け暮れたこと。何と云いたい。声から育まれたものかもしは何か出来ない自分がい。今まで口八丁で生きに入会して人生も人も変わってオリンピック選手で、命令する人がわりました。これからの候補になるほどの腕前でいなくなったら残ったの自分のやれることをやり1968年の日本柔道選は侘びしさと寂しさだっながらシルバー発展に尽くす一人になります」と決意を語ってくれました。

超高齢化社会
むしる味方に



南城市市民福祉部長 高江 順達

日本は、平均寿命、高齢者数、高齢化のスピードという3点において、世界一の高齢化社会といえる。日本の少子高齢化の原因は、出生数が減り、一方で平均寿命が伸びて高齢者が増えているためである。

和22〜24年生まれと第2次ベビーブームの昭和46〜49年生まれの二つの世代に膨らみがあり、出生数の減少で世代の裾が狭

まっている。また、第1次ベビーブームの人達が、もうすぐ高齢者の仲間入りをするため、高齢化は進展し、超高齢化社会となる。高齢化が進展すれば社会に活力がなくなるといいうのが通常のパターンであり、シルバー世代は注視しなければならぬ。人口構成が富士山型の場合、多数の若者が高齢者の面倒を見るため、社会問題化せず、シルバーも隠居が当たり前で、安閑としていられた。第1

次ベビーブームの方々、現在のそれは壺型になっている。シルバー世代の自立が求められる。若者も頼れない。頼ってもいれない。人間の理想の生き方は、出生し、小・中・高校等の教育を受け、自営業か組織で働くかして、定年・退職を迎え、その後健康を維持し、死ぬまで社会貢献しなうことである。それは誰も異存はないだろう。

一方で、人間の体はよくできていて、使わなくなれば、脳も筋肉も劣化・退化する。私もやがてシルバー世代になるが、前述のことを座右の銘として肝に銘じたいと思う。脳も含めて肉体を劣化・退化させないためには、身体を動かし、脳を刺激し社会参加しなければならぬ。

哀楽が伴う社会活動に参加することで、メリハリのある人生を送るのが幸せなのかと二者択一が求められる。昨今の社会情勢は、二者択一の選択さえなく、後者の道しかないような気がする。忍び寄る超高齢化社会の到来は、シルバー世代が自立した生活を送るためには歓迎する社会になるだろう。昨今のシルバーの皆さんは、定年・退職後は、「子ども達の世話になり、悠々自適な生活を送る」この言葉はタブーである。死ぬまで存在価値のある人間を追求し、自立した人間になることで社会参加しよう。存在価値のある人間とは、社会に貢献できることであり、生産活動に従事できることである。幸いに南城市は受け皿としてシルバー人材センターがあり、その門戸をたたき、それに加入することで社会参加できる。シルバー世代が自信を持ち、自立した人間になり、超高齢化社会を嘆くのではなく、むしる味方にして自分の幸せは自ら掴み取る。

指定管理に知恵発揮

☆☆ 南城市シルバー事業の柱に☆☆



長和 枝 局長 事務局長 我屋

平成23年4月1日から県教育委員会の指定管理者の指定を受けた玉城青少年の家ではシルバー会員から所長、ほか職員が就労しています。特に、除草、樹木の伐採作業をはじめ、トイレや宿泊施設の清掃、障子やふすまの張り替え、更にアルミドアの戸車の取り替えなど、それぞれの専門分野を生かした職群

班が大いに活躍しています。契約金額や就業延べ人数など本センター事業に最大に貢献しています。指定管理に参加する際に、高齢者の知恵と経験を生かし、その知識を伝



構内は自然豊かな研修環境

うになりました。これから市民の皆さんが気軽に玉城青少年の家に足を運んで頂けるよう、会員一人一人が玉城青少年の家の広報マンとしてともに頑張りましょう。

このように、玉城青少年の家の皆さんが気軽に玉城青少年の家に足を運んで頂けるよう、会員一人一人が玉城青少年の家の広報マンとしてともに頑張りましょう。



沖縄県立玉城青少年の家

仲間が増え 交流が楽しい

楽しい就業 毎日が元氣

減健康になった

入会してよかったさ〜

毎朝シャキッと 私は80代

健康チェックで 朝の体操楽しみ

日々充実 シルバー最高

清掃しながら 自分の心も清掃

技術生かせる 仕事で毎日充実

西原サエ子さん 玉城

普天間ヨシ子さん 知念

新垣盛明さん 大里

玉城善長さん 玉城

照屋清吉さん 佐敷

伊敷文子さん 玉城

仲村渠安則さん 大里

金城善秀 大里

仕事の風景

シルバーは懇切・丁寧がモットー



花木の管理も丁寧に



玉城中央公民館のワックスがけ



玉城中央公民館の床面の張り替え



クーラーのフィルター清掃



清掃作業も「まかちよーけ〜」



南城市まつり本センター人気コーナーの一つ



伐採作業は手慣れたもの でも安全第一慎重に

ちばりよ



南城市まつりにて理事長自らエコチップの説明



さすがシルバー仲間後かたづけも丁寧に!



← 青少年の家宿泊施設管理



← 街路の除草も丁寧に



選定作業も心を込めて



↑ ① 搬入された伐採樹木をチップ



② チップを熟成室へ移動



↑ ③ 生ごみ、おから等と混ぜ合わせて熟成はかる



↑ ④ 熟成発酵したら農家へ販売

◇ エコチップができるまで ◇